

## 会 議 録

会議の名称	平成25年度第1回健康づくり推進協議会
開催日時	平成25年8月22日(木) 午後1時30分～午後3時20分
開催場所	清須市役所 清洲庁舎 202会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 平成24年度第2回清須市健康づくり推進協議会のご意見と対応について（資料1）</li> <li>3. 清須市保健事業について（資料2-1～3）</li> <li>4. 健康日本21清須計画の推進について（資料3-1～4）</li> <li>5. その他</li> </ol>
会議資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 平成24年度第2回清須市健康づくり推進協議会のご意見と対応について</p> <p>資料2 清須市保健事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 母子保健事業（健康推進課）</li> <li>2-2 成人保健・健康増進保健事業（健康推進課）</li> <li>2-3 介護予防事業（高齢福祉課）</li> </ol> <p>資料3 健康日本21清須計画の進捗状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 2010年市町村別生命表</li> <li>3-2 ベイズ推定値</li> <li>3-3 師勝保健所管内の健康状況</li> <li>3-4 平成21年度特定健診・特定保健指導情報データ分析</li> </ol> <p>参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度清須市母子保健事業日程表</li> <li>・平成25年度清須市成人保健事業日程表</li> <li>・清須市国民健康保険からのお知らせ(清須市国保特定健診・特定保健指導)</li> <li>・平成25年度清須市高齢者保健事業日程表</li> <li>・母子保健推進員養成講座案内チラシ</li> <li>・食生活推進員養成講座チラシ</li> <li>・健康日本21あいち新計画（概要版）（愛知県）</li> <li>・伸ばしませんか 健康寿命（愛知県）</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立しました（内閣官房）</li> <li>・風しん予防接種費の一部助成のお知らせ</li> </ul>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	加藤委員、深尾委員、辻委員、小川委員、丹羽委員、富成委員、近藤委員、関委員、奥山委員、渡邊委員、村上委員、福島委員、藤澤委員、鈴木委員（師勝保健所）
欠席委員	伊藤委員

事務局	大鐘部長 〔健康推進課〕 田中課長、森川主幹、佐古副主幹、寺社下副主幹、舟橋 〔高齢福祉課〕 古川副主幹
<p>会議の経過</p> <p>《要旨》</p> <p>1. 市長あいさつ</p> <p>清須市の行政に格別のご協力をいただき感謝申し上げます。本市の高齢化率は21%を超え、かつてない超高齢社会に向かっています。『生涯を通じて健康でいきいきと過ごすこと』は誰もの願いとなっています。『健康日本21清須計画』に沿って健康づくり環境の充実など、市民の健康づくりに努めています。国の第4次健康づくり対策では『健康寿命の延伸』と『健康格差の縮小』が中心課題となっています。医師会・歯科医師会の先生方はじめ地域の各種団体の皆様のご協力により、市民の健康指標も改善しつつありますが、超高齢社会の新たな課題も見えてまいりました。委員の皆様には忌憚のないご意見を頂き、市民の皆様の健康づくり施策の参考とさせていただきます。</p> <p>2. 委嘱状伝達及び委員紹介</p> <p>師勝保健所長が異動により変わられたので委嘱状を交付。委員名簿により紹介。</p> <p>3. 議題</p> <p>事務局より資料に基づき説明</p> <p>(1) 平成24年度第2回清須市健康づくり推進協議会のご意見と対応について(資料1)</p> <p>(2) 清須市保健事業について(資料2-1~3)</p> <p>(3) 健康日本21清須計画の推進について(資料3-1~4)</p> <p>加藤委員：特定健診の受診者は5,062人、後期高齢者健診の受診は1,983人ですが、受診率はどうですか。</p> <p>事務局：特定健診については平成25年7月現在での法定報告基準では45.9%、後期高齢者健診は30.9%です。</p> <p>加藤委員：65歳以上の方が積極的に受診されていると思います。高血圧・高血糖・脂質異常治療薬の服薬者が多いのは、もし一次予防として血圧が高いだけで脳卒中や心疾患が少ないとすれば意味があると思いますが、残念ながら脳卒中や心疾患も高いので二次予防の方も多く、数値だけで読み取ることはできません。介護保険認定者は、男性は脳血管疾患の方、女性は転倒による骨折の方が多く、健康寿命を延ばすためには介護予防教室などで予防することが今後の課題だと思います。</p> <p>辻委員：高血糖治療薬内服者の状況を見て、実際にこれくらいしかいないのかと思いました。薬局機能が6種類に分化されています。医療の専門化・細分化に伴い、対応できる薬剤師が必要となっています。</p> <p>小川委員：今後は後期高齢者の増加に伴い福祉サービスの必要な方が急増するので、要支援の方への対策が大切です。市町村国保も県単位になる可能性があるので事前に情報収集が必要です。国保の財源はますます厳しくなりますが、人間ドックの補助は残していただきたいです。医療費では特に透析患者の医療費が高いので、清須市の弱点を踏まえた効果的な健康づくりが重要だと思います。</p> <p>丹羽委員：地域では高齢者の増加に伴い、老老介護、認認介護、独居が増えています。これらの相談は民生委員に寄せられるので、この会議にも民生委員の代表が入ると地域の声が活かせると思います。</p> <p>富成委員：娘が中学1年生で、子宮頸がんワクチンの副反応のニュースを聞いて驚きました。</p>	

積極的接種の差し控えとは、接種した方がいいのか、しない方がいいのか悩みます。日本脳炎の時も中止になり困りました。

加藤委員：子宮頸がんで亡くなる方は年間2,000～2,500人で、これからすると副反応は少ないため接種しない方がいいとは言い切れません。元気だった子が予防接種副反応で苦しむことは接種医にとっても負荷は大きく、このような相談には歯切れの良い返答ができません。接種するかどうかは保護者の判断に任せているのが現状です。

鈴木委員：しばらくすると国からの結論が出ると思われれます。

近藤委員：女性の会の促進事業として、23年度までの5年間は認知症の寸劇などブロック別で発表、認知症予防に取り組みました。24年度からは3年計画で防災への取り組み、逃げ時マップの作成やセミナーを実施しています。女性の会は日赤と共同し、炊き出し訓練なども行っています。寿会・寡婦会・商工会・子ども会など6共同団体に活動しています。

関委員：商工会会員の男性で前歯のない方が多い気がします。歯科治療期間が長くかかるのが未受診理由なので、治療を短縮できませんか。男性への歯の健康づくり、歯を大切にするという啓発を行ってほしいです。

深尾会長：市には節目歯科健診がありますが、歯科はトラブルがないと受診しない傾向にあります。歯の治療には段取りがあり、ステップを踏んで治療する必要があります。患者さんの都合や希望を聞きながら短期間で終了するようにしていきます。

奥山委員：前歯のない方は愛煙家に多く、たばこは歯だけでなく身体に悪影響があります。テレビのコマーシャルで禁煙について宣伝していますが、禁煙外来は未だ十分周知されていないようです。運動では、継続していると体調が良くなるなどの変化を実感しています。運動は健康寿命を延ばす1つになると思います。

渡辺委員：耳が遠くてコミュニケーションが難しい高齢者が多く、補聴器の購入に助成があるといいです。母子保健推進員は、こんにちは赤ちゃん訪問を実施しており、歓迎してくださる方もあれば、何度行っても不在の場合もあります。今年度は母子保健推進員養成講座があり、新たな人材確保に期待しています。妊娠中に胎児の障害や異常の有無を診断するために出生前診断をする方があると聞きますがどうですか。

事務局：本市の母子健康手帳交付においても、晩婚化でハイリスクの高齢妊婦が増えてきています。実際に検査を受ける方はいますが、実数は把握していません。

村上委員：豊田合成ではBMIと喫煙率の減少を目標としています。できる限りの対策を実施していますが、BMI対策では、最近、社員証で昼食だけでなくお菓子も安易に購入できるようになり間食が減らないことが課題です。禁煙プログラムにより希望者には保健師が指導していますが、喫煙率は38～39%で頭打ちの状況です。

福島委員：孤独死の問題があります。また災害は減らせないが、被害は減らせるという思いで、実践的な災害対策を地域で実施しています。その際、家に引きこもっている方に声をかけ芋やおにぎりを食べてもらい好評でした。

藤沢委員：寿命データは興味深く拝見しました。多くの資料から清須市の状況をどう読み解くかが大切です。他課と連携して同様な事業のスリム化を図ったことは、効率的で良いと思います。昨年度、男性対象の教室を実施したようですが、男性は女性ばかりの中に入ると一歩引いてしまう人もあるようです。

事務局：既に、地域では男性グループが活躍されています。今年度は男性限定の食生活推進員養成講座、運動・栄養の講座などの実施を予定しています。

鈴木委員：ベイズ比の数値で女性の高血圧などが多いのは地域的な食習慣が原因の一つであるのか、また女性の交通事故死が多いのは路地が多く道路整備状況の影響かなど、ウォーキングロードの整備も含め、今後、関係機関とも連携してみていく必要があります。喫煙・歯周病・糖尿病は密接に関係していますので、予防活動を今後もお願いしたいと思います。

#### 4. その他

事務局：本日のご意見・ご要望につきまして次回の会議でご報告申し上げます。今後よろしくお願いたします。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名します。

署名委員

丹羽 勇 夫 ㊟

富 成 博 美 ㊟

会議の結果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4360